

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-ウ	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化		
施策	③ 地域特性に応じた道路整備とバス路線の維持・確保			
主な取組	定住を支援する道路整備	実施計画 記載頁	297	
対応する 主な課題	離島住民の生活利便性を確保する陸上交通基盤については、地域特性を踏まえつつ定住環境の確保に資する道路整備を進める必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	離島の自立的な地域づくりと定住支援を図るため、伊良部大橋など地域特性に応じた道路整備を推進するとともに、空港、港湾・漁港等の交通拠点間を相互に連結させるための整備を実施する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
		橋詰め広場 完了	宮古島市久 貝～池間添 区間			→	県
	平良下地島空港線(伊良部大橋)の整備						
	マクラム通り線の整備					→	
	石垣空港線の整備					→	
	1区間完了	4区間完了	4区間完了	3区間完了	2区間完了		
	その他路線の整備					→	
担当部課	土木建築部道路街路課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
活力創出基盤整備総合 交付金事業費(国道・地 方道)道路、地域活力基 盤創造交付金事業費 (道路)、活力創出基盤 整備総合交付金事業費 (街路)	10,284,145 (4,648,248)	7,417,980 (4,648,244)	平良下地島空港線(伊良部大橋)、マクラム通り線、石垣空港線等の整備を行った。【内閣府計上、一括交付金(ハード)】	-
活動指標名			計画値	実績値
完了区間数			1区間	1区間
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	取組み完了後の効果として、離島定住条件の改善や生活基盤の充実が期待できる。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
社会資本整備総合交付金(道路)、沖縄振興公共投資交付金(道路)、沖縄振興公共投資交付金事業費(街路)	7443558 (2,866,161)	平良下地島空港線(伊良部大橋)、マクラム通り線、石垣空港線等の整備を行う。【内閣府計上、一括交付金(ハード)】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様、事業推進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
県管理道路(離島)の改良率	89.9% (21年度)	90.2% (22年度)	90.3% (26年度)	0.3	90.1% (21年度)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—		—
状況説明	目標達成に向け、県管理道路(離島)の改良率は着々と上がっており、離島地域の定住環境の確保につながっている。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

交通機能と沿道アクセス機能のいずれを優先するかや、景観、防災への配慮など、地域が道路に求めるニーズが多様化、複雑化してきている。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

画一的な整備ではなく、多様化、複雑化する道路ニーズへの柔軟な対応が必要。

4 取組の改善案(Action)

情報共有を密に行うなど市町村と連携して地域特性の把握に取り組み、地域ニーズに柔軟に対応した道路整備を推進する。